

2008年岩手・宮城内陸地震に伴う災害被害状況等

平成20年6月26日14:00現在
 岩手県総合防災室
 (総合防災室 内線5162)

災害被害状況

区 分		数 量 ・ 被 害 額				担 当 部 課 等	
人的被害	死 者	2 人				地域福祉課(内線 5421)	
	重 傷 者	9 人					
	軽 傷 者	28 人					
住家被害	全 壊	1 棟	1 世帯				千円
	半 壊	2 棟	2 世帯				千円
	一 部 破 損	358 棟	350 世帯		600		千円
	床 上 浸 水	棟	世帯				千円
	床 下 浸 水	棟	世帯				千円
	計	361 棟	353 世帯		600		千円
非 住 家 被 害		13 棟					37,323 千円
農業関係被害	農 業 施 設	61 件				164,307 千円	
	農 作 物 等	37.4 ha				13,896 千円	
	畜 産 関 係	kg	4 頭羽			323 千円	
	農地農業用施設	638 箇所				1,799,000 千円	
	計					1,977,526 千円	
林業関係被害	林 業 施 設 被 害	295 箇所				991,692 千円	
	林 産 物 被 害					30,100 千円	
	森 林 被 害	57.2 ha				97,968 千円	
	林 野 荒 廃	38 箇所				5,895,279 千円	
	計					7,015,039 千円	
水産関係被害	水 産 施 設	箇所				千円	
	漁 船	隻				千円	
	漁 具	箇所				千円	
	養 殖 施 設	台				千円	
	水 産 物	kg	個(殻付かき)		1,000	千円	
	計				1,000	千円	
漁港関係被害	調査率 100%	箇所				千円	
土木施設被害	河 川	37 箇所				1,367,000 千円	
	道 路	347 箇所				12,099,452 千円	
	橋 梁	38 箇所				3,164,534 千円	
	砂 防	4 箇所				179,000 千円	
	公 園	1 箇所				1,000 千円	
	海 岸	箇所				千円	
	港 湾	箇所				千円	
	下 水 道	2 箇所				99,600 千円	
計	429 箇所				16,910,586 千円		
学 校 等 被 害		155 校				228,834 千円	
消 防 施 設 被 害		2 箇所				700 千円	
庁 舎 等 被 害						8,013 千円	
社会教育・体育・文化施設被害						157,505 千円	
社 会 福 祉 施 設 被 害						7,430 千円	
観 光 施 設 被 害		35 箇所				850,543 千円	
医療衛生施設被害	上 水 道	11 箇所				38,854 千円	
	簡 易 水 道	19 箇所				454,390 千円	
	医 療 施 設	17 箇所				41,449 千円	

	衛生施設	2箇所	550千円	環境生活企画室(内線 5327)
	計	49箇所	535,243千円	
商工関係被害	商業関係	162箇所	104,100千円	商工企画室(内線 5528)
	工業関係	125箇所	119,207千円	
	計		223,307千円	
文化財関係被害	41箇所	12,520千円	教育委員会事務局教育企画室(内線 6108)	
電力関係被害		11,850千円	環境生活企画室(内線 5327)・企業局	
鉄道関係被害		千円	地域企画室(内線 5203)	
高圧ガス施設等被害	箇所	千円	総合防災室(内線 5556)	
公営住宅等被害		千円	県土整備企画室(内線 5850)	
船舶被害	隻	千円	総合防災室(内線 5153)	
工業用水道被害		千円	企業局経営総務室(内線 6379)	
鉄道関係被害		千円	地域企画室(内線 5203)	
通信関係被害		千円	地域企画室(内線 5203)	
(予備 1)		千円		
(予備 2)		千円		
(予備 3)		千円		
計		27,978,019千円		

住民等の被害

- (1) 人的被害 : 死亡2名、負傷37名
 ・ 奥州市 死亡1名、負傷32名
 ・ 一関市 死亡1名、負傷2名
 ・ 藤沢町 負傷1名
 ・ 平泉町 負傷1名
 ・ 花巻市 負傷1名

(2) 住家被害

市町村	被害棟数	被害状況
奥州市	206棟	半壊(1)、一部損壊(205)
一関市	116棟	全壊(1)、半壊(1)、一部損壊(114)
花巻市	3棟	一部損壊(3)
金ヶ崎町	25棟	一部損壊(25)
平泉町	2棟	一部損壊(2)
北上市	3棟	一部損壊(3)
西和賀町	6棟	一部損壊(6)
合計	361棟	

避難の状況

区分	避難勧告実施		自主避難		避難施設
	世帯数	人員	世帯数	人員	
奥州市	2	4	10	21	
避難所	1	1	5	10	衣川健康センター
親戚宅等	1	3	5	11	衣川荘
一関市	23	69			
避難所	10	37			巖美公民館山谷分館
親戚宅等	13	32			
計	25	73	10	21	

6月25日12:00に、本寺小学校体育館から巖美公民館山谷分館に避難先を変更完了

各部局における対応状況の特記事項【平成20年6月26日16時現在】

部局名	部局における対応状況
環境生活部	1 断水 326戸 内訳 : 奥州市衣川区衣川簡易水道300戸(平泉町13戸を含む。) 一関市巖美・萩荘簡易水道 26戸 2 奥州市衣川区衣川簡易水道は、鳴沢水源の濁度対策として、簡易ろ過施設工場製作及び仮設水管の本管接続作業中であり、7月4日の復旧を予定している。

<p>農林水産部</p>	<p>1 農地・農業用施設等の復旧等 (1) かんがい不能な水田面積は、前日(6月25日)の2地区30haから、1地区(一関市市野々原地区)10.0haに縮小(うち6.9haは、かんがい可能であるが、立ち入りができないため耕作不能) 奥州市衣川区11ha(1地区)では、地元農家による水路の土砂撤去が完了し、6月26日から通水開始 一関市市野々原・祭時地区については、現地調査を6月23日～24日に実施した結果、市野々原地区の、かんがい不能面積は10.0haと判明。水田亀裂や畦畔崩落が各所で見られることから、今後の詳細の対応について一関市等と検討中。祭時地区の農地・農業用施設の被害は、現時点で少ない模様</p> <p>2 林地崩壊への対応 (1) 国有林の現地調査及び復旧計画作成のため、全国の国有林治山技術者9名で編成された「治山技術エキスパート部隊」の2名が、磐井川上流で活動を開始(6月25日) (2) 国土交通省と林野庁は、今後の土砂災害対策が、効果的・効率的に進められるよう砂防・治山の専門家からなる「平成20年岩手・宮城内陸地震に係る土砂災害対策技術検討委員会」を組織(6月26日)し、6月28日に一関市において第1回検討委員会を開催する予定</p>
<p>県土整備部</p>	<p>1 土砂災害対策 国土交通省と林野庁は、今後の土砂災害対策が、効果的・効率的に進められるよう砂防・治山の専門家からなる「平成20年岩手・宮城内陸地震に係る土砂災害対策技術検討委員会」を組織(6月26日)し、6月28日に一関市において第1回検討委員会を開催する予定</p> <p>2 須川温泉への通行 秋田県側から須川温泉への通行が可能となった。 秋田県情報 6月25日13時 秋田県側から須川温泉までの全面通行止め解除。日中:片側交互通行(9:00-17:00のみ)</p>